社說

官吏任用と諸學校

政府が官吏を採用するには概して試驗に依るの制なれども官公立尋常中學校又は文部大臣に於て之と同等以上と認めたる官公立學校の卒業生は無試驗にて判任官と爲るの資格あるものなり學校の卒業證書を信用して試驗の手數を省くは誠に當然のみとなれども何故に此特典を私立學校に及ぼさゝるやは我輩の兼て疑ふ所なり本來人を採るに或は試驗に依り又は學校の卒業證書を要するは只無學無識の輩を防ぐの趣意なれば苟も學力さへあれば其れにて可なり其學力は何れの所にて得たるものにても差支ある可らずして世間、官公立尋常中學に勝る私立學校少なからずして其內には文部大臣も亦中學以上と認めたるもの多し何故に文官任用に於て是等の學校を排斥するか同じ學問にても私立學校にて修めたるものは用を爲さずとの意か將た又文部大臣の認定は信用するに足らずとの意か如何にも不思議千萬なり特に徵兵令に關しては私立學校も文部大臣より中學以上と認定せられたるものは官公立と同じく特典に與るの例なり同じ政府が同じ私立學校に對して或る場合には官公立と同樣の特典を與へ或る場合には之を拒絕するが如き又同じ文部大臣の認定を或る時は信用し或る時は信用す可らずとするが如き矛盾も亦甚だしと云ふ可し私立學校にて覺えたる「いろは」も官公立學校にて學びたる「いろは」も「いろは」は同じく「いろは」なり其功用に差別はある可らず學問にさへ優劣なければ判任官の任用に於て官公立と私立とを區別するの要なきのみならず一步を進めて論ずれば奏任官を採るにも高尙なる學校の卒業生には都て無試驗の特典を與ふるこそ至當なれ其次第は前にも云ふ如く人を用ふるに試驗を要するは只無識の輩を淘汰するが爲めに外ならざれば苟も高等の敎育を受けたる保證ある者は其まゝ採用して可なり銀行會社等にて人を採るに當り其人が果して相當の學力を備ふるや否やを判ずるには學校の卒業證書を標準とするの常なり民間の事業も官廳の仕事も大切なりと云へば共に大切にして其間に輕重の差別なしとすれば獨り奏任官を採るに如何なる學校の卒業生にても別に試驗せざる可らずと云ふの理由なし特に帝國大學の如きは政府直轄の學校にして其卒業證書は即ち政府の保證狀と云ふも可なり然るに之をも信用せずと云ふは恰も當局者自から疑ふものにして自から疑ふ以上は官吏採用試驗其物をも亦疑はざるを得ず到底[illegible]に判任官を採る場合には中學校を信じて而も奏任官を任するには自分の大學をも信ずる能はずとは辻褄の合はぬ話しと云ふ可し蓋は曾て行ひしが如く今日大學生に無試驗採用の特典を與ふるに於ては又々世間に物論を生ず可しと云はんかなれども如何に物論を生ずればとて無益の愚策は行ふに及ばざるのみならず其曾て物論を生じたるは私立學校を繼子視して獨り官立のみを愛護し帝國大學をして恰も唯一の官吏養成所たるが如き姿を呈せしめたるが爲めなれば今若し帝國大學に特典を與ふると共に私立學校にても相應の敎育を施すものには亦同樣の特典を與へて其間に依估贔負の沙汰なきに於ては天下に苦情を唱ふる者はある可らず要するに官吏任用に付ては或は官私に依て學校の待遇を異にし又は前後矛盾するなど不思議あるみと少なからず速に改正せられんみとを望むものなり

○北京特報（三月十六日）

特派員　杉幾太郎

旅順口の運命

旅順問題の成行は今尙ほ判然たらず全權大使許景澄氏の聖彼得堡に赴きしも數日前の事にして其實際の談判に付きては未だ確報來らざる樣子なるが一般の想像に據れば露國は其談判を露京に開かんとする淸國の申出に應ぜざるべしと云ふ蓋し露外相ムラヴヰーフ氏が露國に商議すると同國公使パブロフ氏が北京に於てするとは其難易固より同日にあらず例とすれば東洋にては一般に露國の勢力を認むるみと寧ろ過大に失する程なれば談判上の爲めにも萬事好都合の利益あればなり云々と然れども吾輩は其談判地の露京に於てすると北京に於てするとに論なく今日の形勢を以て推せば旅順口大連灣は終に露の占有に歸するならんと信ぜざる能はず警報あり曰く去る十三日軍機大臣は闕下に伏して時局多難の次第を奏上し露國は到底其要求を貫徹せざれば止まざる者の如くなれば露國が愈々武力に訴へて之を占奪せんとするに至らば如何にか處理すべきや願くは叡慮の程を聞かんと述べたるに淸帝は愁然として曰く事已に茲に至る我國の微力如何でか强露に當るを得べき左れば唯成るべく其要求を削減して之を許諾するの外なからんと果して此事實の如くんば其結果今より推知するに難からざるなり

●●●滿洲の露兵　滿洲鐵道保護の名にて滿洲吉林に入込める露兵の總數は約一千人もあらんと北來の電報に見えたりと併し淸國人は最早該地を以て其有と思はざるが爲めか左して驚かざるものゝ如し

●●●●●外國新聞記者の來京　ロイテル電報の通信者としてはダッツコン氏已に此地にあるみとなるが同社は倫又特にグイン氏を北京に特派し[illegible]來着せりグイン氏はスーダンの戰爭に從軍せし人にして戰事通信者として名あるものなり又倫敦タイムスはモリソン氏を特派して昨冬以來常に此地に滯留せり同氏は有名なる旅行家にして南方支那[illegible]の地足跡至らざるなく近頃又滿洲を[illegible]港に出で歸來せり其他伯林時報の特派通信員ユーガンロウルコ氏も兩三日前來京せし由

●●●鎭津鐵道　鎭江天津の鐵道は米國に歸化せし容閎氏の計畫なるが獨逸公使は其山東通過を拒み總署に告げて曰く山東の鐵道權は獨人の手にある今日漫に淸國人の開設を許さずと是に於て容閎氏は其線路を變更して山東の西を迂回せしめんと計畫し居れりと云ふ譯の分らざるみとゝ云ふべし

●●●●●天津の日本居留地　鄭領事の赴任以來專ら盡力せる同地居留地の談判は更に土民の反對多く今猶決定せざるとなるが今天津よりの來信に依れば天津知縣呂增祥氏は嘗て在京なる淸國公使館に參贊官たりし人として淸國政府が同氏を天津知縣に命ぜしは居留地談判に種々便宜あるべしと信じたるが爲めなるべし然るに該地には謠言百出し呂氏は日本の賄賂を受けたりなど唱へ甚しきは之を暗殺せんと脅嚇する杯人心何となく穩ならざる姿なるも日本にては斷じて其要求を扶けざる決心なりと云ふ

●●●●●日露間の風說　昨今種々の風說を傳ふる者あり曰く日本船舶は悉く海外の出帆を止められたり曰く日本政府は露國に旅順退却の件に付きアルチメータムを送りたり曰く日本は倫敦にて外債を募せりと而して斯る風說は獨り淸國人社界に信ずるのみならず天津洋字新聞の如き其社說に於て之を云々する者あり畢竟是等の風說は其國人が例の如く爲めにする所ありて製造せるものに外ならざるべし併し日本新聞の二週間後にあらざれば到着せざる當地の事とて之を輕信するものあるも亦無理ならざるべし

●●●●●威海衞の日本軍　に關する風說に至りては更に驚くべきもの多きが中にも或は日本は其駐兵を二倍すべしと云ひ或は日本軍は該地の防備を一層嚴重にせりなど唱へ外字新聞すら之を記載するものあり

○西園寺侯の容體

西園寺文部大臣の病氣は前號の紙上に記載せし如く四五日前には餘程重症なりしも其後少しく快復の模樣あり昨朝大森の別邸に大臣の病氣を見舞ひたる人の話によれば幾分か輕快に赴きしも未だ全く安心の場合に至らず家人は晝夜看護に怠りなしと尙ほ帝國大學の醫師スクリッバ氏は同日午後診察の爲め同地に赴きたる由

○新潟縣師範學校の紛擾

新潟縣尋常師範學校にては過般生徒の演劇事件ありて世間の攻擊甚しかりしが去る廿八日卒業式擧行の際籠手田知事臨場し演說中演劇事件に論及して敎員生徒を罵倒したるにより敎員は大に激昂し一同辭表を差出したりと云ふ尤も知事よりは此件に關し未だ何等の報告なきも同校長より文部省へ向け知事の演說に對し敎員一同激昂せりとの電報ありたり但し辭表提出云々に就ては未だ公報なしと云へり

○福島縣蠶業學校

同校の本科は徵兵令と文官任用令とに關して中學と同等以上なることを文部大臣より兩ながら認定せられたり

○街燈及び軒燈

郵便物の配達に便ならしめんが爲め成るべく「道しるべ」を設くべしとは曩に遞信大臣の告示せる所なるが街燈に町名を記し軒燈に町名番地等を記すは別段の勞費を要せざるに拘らず郵便物の配達を初め一般交通上に益する所多ければとて街燈管理者及び軒燈主は公益の爲め廣く實行せよと遞信大臣は告示せり

○犯罪の美術（六十）

皚峰譯

『それは、箕村さんがお盜りなさつたのなら、何も構ひは致しません。左樣存じましたから、妾は少しも爭ひませず、あの席では、寧そ態とに、怒つて見せて居つたので御座ります。斯う申しては何で御座りますが、結局は貴方のお目を晦まして、箕村さんの業だと思はせない爲めに、別に賴まれましたのでは御座りませんが、妾は箕村さんを助けてお上げ申す積りで、唯だ左樣致したので御座ります。處が昨日に成りまして、妾は考へましたので御座ります。若し箕村さんがお盜りなさるのなら、何とか前以つて、仰しやつてお置き成さりさうなものだ。左樣すれば矢張り、あれはお盜られて仕舞つたのでは無からうか。と斯う考へましたものですから、早速手紙を差し上げましたので。』

『成程、貴孃は左樣いふ場合には、必ず前以つて、何とか箕村さんが、仰しやつてお置きなさると、確に左樣思し召すので御座りますか。』

『ハイ、確に左樣存じます。』

『併し、何で御座りますか、何に致しましても、掏摸と云つた樣な眞擬を、爲さるみとで御座りますから、さう云ふ事に貴孃を、お引き込みなさるのは、箕村さんだつて、餘りだと思し召したかも、知れませんですか。御承知でも御座りましやうが、箕村さんは、實は拘引いたしても宜しいのです。若し拘引されたと成りますれば、勿論箕村さんは、あれは眞成に盜つたのではない、戲事だと、それを御說明なさるに、違ひは御座りますまい、が、愈々その御說明が立つて、それで放免されると云ふ迄には、隨分日の掛かる事で御座ります。ですから、そんな事からして、自然貴孃のお名でも出てはと、其處らのとみろをお察しなすつたかも、知れないで御座りますよ。』

『イ、エ、箕村さんはもつと好く、妾の氣分を御承知で入らつしやいますよ。』片頰に笑みて、つゆ子の云ふなり。

『そのもつと好くと、仰しやるのは。』

『ハイ、箕村さんの爲めに、迷惑を受けますのなら、何んな事であらうとも、妾は迷惑と思はないと云ふ事は、箕村さん好く御承知の筈